

パッテロースピリッツで  
笑顔あふれる和知小学校  
和知小学校



和知小学校に入学したピカピカの1年生は、入学式を終えるとすぐに、『1年生を迎える会』で在校生のみんなからの歓迎を受けま  
す。在校生は、1年生が和知小学校で笑顔で安心して生活できるように、一生懸命練習をした出し物を発表  
します。会が終わると、1年生はもちろん、迎える側の在校生も笑顔でいっぱいになります。  
本年度、和知小学校では、「パッテロースピリッツ」を合い言葉として、様々な活動に取り組み  
てきました。

まずは、「パッテローちゃん」をご紹介します。  
パッテローちゃんは、今から約90年前の昭和2年に、アメリカから友好の架け橋として日本に贈られたたくさんの青い目の人形のうちの一体です。

日米友好のために奔走していたギューリック博士が「子どもの頃から友好の心をもってい

ば大人になっても仲良くできる」と考え、日本に贈ったのです。

その後アメリカとの戦争が始まり、このパッテローちゃんも敵国の人形だとして処分される運命にありました。しかし、その当時和知小学校に勤めてみえた水谷先生が、自らの身の危険も顧みず、それを隠しておいたことで、パッテローちゃんは、戦後再び和知小学校で飾られることとなったのです。そして、現在でも、校長室で大切に保管されています。



このようにパッテローちゃんは和知小学校にとって、《思いやる心の象徴》なのです。

そこで、和知小学校がこれまで大切にしてきた上級生が下級生のお世話をしたり一緒に仲良く遊んだりする姿、仲間同士で互いにきたえ合い支え合う姿に込められた思いを「パッテロースピリッツ」として明確に位置づけ、様々な活動に意図的に取り入れてきました。

自分ががんばったことで仲間が笑顔になり、その笑顔を見ることを自分の喜びとする気持ちが「パッテロースピリッツ」です。文頭で紹介した、1年生を迎える会の在校生の思いこそが、まさに「パッテロースピリッツ」そのものなのです。

その思いは様々な場面で大切にされていますが、最もよく現れている行事が11月に行われる「こにこフェスティバル」です。この活動は、毎年

児童の運営委員会が中心となつて行っているもので、縦割り班の「きんもくせいグループ」ごとにゲームを行い、お互いにお店屋さんになったりお客さんになったりして活動する行事です。

お客さんとなって、高学年の子が低学年の子の面倒を見ながら仲間と一緒にゲームを楽しみ喜びと、お店屋さんになって、お客さんに笑顔になってもらおうと一生懸命おもてなしをする喜びの二つの喜びをこの行事では一緒に味わうことができ、その喜びこそが、「パッテロースピリッツ」そのものでもあります。



そして、その集大成となるのが、2月に行われる6年生を送る会です。1〜5年生は、今までお世話になった6年生を笑顔にするために、そして6年生は、今まで支えてくれた在校生を笑顔にするために、それぞれが心を込めて合奏を披露したり、合唱を披露したりします。先生たちも子どもたちの思いに少しでも応えられるように、子どもたちに笑顔になります。

和知小学校は、笑顔いっぱいなの、「パッテロースピリッツ」があふれる学校なのです。

